地域づくり クローズアップ

友枝発 KOGE

1 杖を手に元気にスタートする参加者

まちあるきイベント

自然と歴史の里、東上を訪ねて

ネットワーク友枝

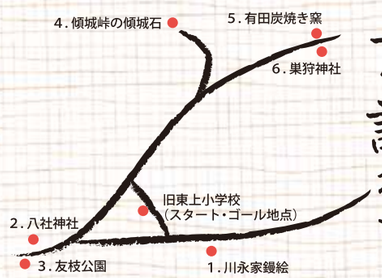
ネットワーク友枝では、まちを歩くことで地域の文化財や美しい自然環境を多くの人に知ってもらいたいと考え、まちあるきイベントを開催しています。初回は土佐井地区を巡るまちあるきを開催し、今回紹介する第2弾は東上地区のまちあるきイベントです。

参加してくれた人たちの笑顔がみたいから

3月14日(日)に開催されたまちあるきイベントは、東上地区の名所を巡る約8kmのコース。このコースが完成するまでに、ネットワーク友枝まちあるきチームの皆さんは、下見を7回、会議を14回、会場の備品づくりを4回と、参加する人たちが満足できるイベントになるようにと、全力で取り組んできました。

3

2



2 進行方向を示す足跡
3 東上八社神社を説明する小川島さん

地域づくり クローズアップ

地域を愛する気持ちが伝わって

本番前日の準備には、福岡放送めんたいワイドの取材が訪れるサプライズもあって、メンバーのやる気に拍車がかかり、万全な状態で本番当日を迎えました。

当日の一般参加者は91名、地元の婦人会や史跡の説明者などスタート・ゴール地点である旧東上小学校に集まった人数は総勢161名。準備体操を終えて進行方向を示すアスファルト上の足跡マークを目印に一行はまちあるきをスタートしました。

4

各名所では地域を一番良く知っている住民の方々の出番。東上にたくさんの人が訪れたことの喜びからか、拡声器を手に名所をうれしそうに説明する姿を見て、地域を愛する気持ちが伝わってきました。参加者にもその気持ちが伝わったのか、説明を聴く姿も真剣で、東上の魅力を伝える最高の機会になったようです。

昼食場所は上毛町の絶景ポイントの一つである有田地区。あいにく空は曇っていて中津、四国を眺めることは出来ませんでしたが、巣狩神社周辺ではおにぎりと漬け物を食べながら参加者同士の交流が深まっているようでした。

昼食後には友枝神楽の子ども神楽が舞われ、お囃子が有田地区に鳴り響くと、かつて巣狩神社に奉納されていた神楽を思い出した有田地区の住民の方々はとてもうれしそうでした。

ゴールするとイベントのスペシャリスト「よらんかい」の皆さんが季節の野菜のてんぷらや懐かしいポン菓子で参加者をお出迎え。8kmの疲れを癒す最高のおもてなしに参加者もご満悦の様子で、さっき食べたおにぎりのことを忘れたのか、てんぷらをたくさん食べていました。

イベントの締め括りにはビンゴ大会が行われ、協賛者からの豪華景品に喜ぶ参加者の笑顔で、まちあるきイベント「自然と歴史の里、東上を訪ねて」は大成功で幕を閉じました。

まちあるきイベントは地域の名所や自然に触れ合うことが出来る最高の企画です。車でいつも通っている道も歩くことで目線が変わり、ゆっくりとした時間の流れから美しい景観など新しい発見があったりします。ネットワーク友枝はそのことを知っているから、「歩く」ことにこだわり、各地域の魅力をたくさんの人に知ってもらおうと、幾度もコースを歩き最高のコースを作っています。今年度は開催回数を3回に増やすことが決定しており、コースの企画に動き出しています。

6

5

7

8

4 有田で行われた子ども神楽
5 てんぷらを美味しそうに食べる参加者
6 準備の取材を受ける山下朗さん
7 炭焼き窯を案内する中島保男さん
8 鐵絵(こてえ)を説明する田島保伸さん